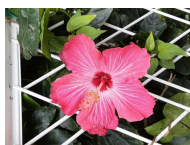


『風は南から』 令和6年度 校長室便り (2月28日)(第23号)



母校（小学校）訪問 「アシスタント・ティーチャー」



昨年度からこの時期（2月）に、卒業を控えた3年生の希望者に「アシスタント・ティーチャー」として小学校を訪問し、授業中の支援をしてもらっています。「ティーチャー」という名称に自分にはできないと構えてしまいがちですが、内容は小学生と一緒に遊んだり、席の横で取組の支援をしたり、赤丸をつけてあげたりする程度なので、何も心配はいりません。本年度は、住吉小学校に6名、国頭小学校に1名を引き受けてもらいました。

2月25日に住吉小を訪問し、1・2年生の「生活」の授業を見学させていただきました。住吉小出身の3名が、児童と一緒に6年生へお礼の絵手紙を書きました。何の絵でどんな内容の手紙にするのか、短い時間で書き上げるのは大変です。席を回りながら一所懸命にサポートしていました。「教えることは学ぶこと」です。7名にはきっと良い経験になったと思います。

下平川小 絵本の読み聞かせ



2月25日（火）本年度最後の「絵本の読み聞かせ」に同行しました。最後は、下平川小学校で2年生3名と3年生2名が参加してくれました。本年度は、34名のボランティア希望者が出ましたので、一人当たり3回ほどお願いして島内全ての小学校を訪問することができました。どの小学校も高校生の訪問を楽しみに待っていてくださったようで、その期待に応えて冲高生の読み方のレベルも毎年上がっている気がします。下平川小学校でも大好評でした。未経験の人は、来年度はぜひ参加して、自分の表現力を磨いてください。

「ティー・ボール大会」



2月24日（月）午前中、地域貢献の一環で野球部が小学生対象の「ティー・ボール大会」を開いてくれました。冷たい北風が吹く中、朝早くから準備をし、校庭にはテレビでお馴染みの「リアル野球盤」が完成していました。

今回は28名の島内の小学生が参加し、高校生の指導のもと3チームに分かれて試合形式で楽しそうにプレーしていました。絶妙なタイミングでアウトになったり、ファインプレーが飛び出したりするなど、最後まで大変盛り上がりしていました。本格的に野球ができなくても、ティー・バッティングだけで野球が十分楽しめるという発想に感心してしまいました。小学生もきっと冲高を身近に感じてくれたと思います。野球部の皆さん、寒い中本当にご苦労さまでした。

素敵な写真のプレゼント

本年度「人権に関するポスターコンクール」に1年2組「作田優夏」さんが応募し、見事入選しました。その入選作品が、昨年12月4日から10日まで山形屋3階の渡り廊下に展示してあったそうです。それをご覧になり感銘を受けた鹿児島市在住の「徳丸尚」様（84歳）から、校長宛に写真とお手紙をいただきました。手紙には、「展示してある自分の作品を見る機会がないかもしれないと思い、写真に撮りましたので、頑張ったご褒美にプレゼントしてください。高校時代の良い思い出の一つになれば幸いです」と添えてありました。感激して、早速お礼の電話を入れました。徳丸様は元小学校の先生で、生徒たちの作品の展示会があるとよく見に行き元気をもらっていると話されていました。まさか自分の作品が他の方にこんな形で影響を及ぼすことがあるなんてあまり考えませんでした。嬉しいお便りに心がほっこりしました。



保健委員による「歯磨き講座」



冲高生の虫歯の保持率が高く、治療に対する意識が低いという危機感から、2月14日（金）昼食前に保健委員による「歯磨き講座」がありました。鹿児島県の高校生の虫歯の保持率は、34.7%のようですが、冲高生は約50%。さらに治療に行っていない人がその約半数。今後が心配です。

まず、現状の報告となぜ虫歯になるのかというメカニズムの説明があり、最後に正しい歯の磨き方に関する動画を鑑賞しました。アイスクリームよりもポテトチップスの方が虫歯になる確率が高いことが勉強になりました。食事後の歯磨きでは、歯垢染色錠を使って、お互いに磨き残しをチェックしていました。これを機会に虫歯予防に努めていきましょう。

「第27回 島唄・島ムニ大会」



先日、知名町の田中教育長に、知名町出身の福山玄太さんと鹿児島県弁論大会の最優秀賞と九州大会優秀賞受賞の報告に行きました。その時、田中教育長から、2月に知名町で島ムニ大会を開催する予定があるけれども、弁論の内容を島ムニで発表してみてもどうかというお誘いを受けて、福山さんが今回チャレンジする運びとなりました。

2月15日（土）知名町「あしびの郷・ちな」にて「第27回島唄・島ムニ大会」が開催され、小学生から一般の方まで11の団体が演目を披露しました。その中で1番目の出演者として福山さんが登場し、最初に田中教育長から九州大会優秀賞の受賞や全国大会出場も含めて、島ムニで紹介いただきました。年配の方でも、島ムニを聞くことはできても話すことはできない人が増えているそうです。小学生が流暢に話すのを聞いて感心しました。「言葉は文化なり」とよく言いますが、言葉が廃れていくことになる、一つの文化が衰退していくことになります。この大会の意義を再認識しました。